

開運大摩利支天閣 最上稲荷庭瀬支院 覚如山本了院

妙法華寺便り

令和7年5月号



和尚さんのよろず話

新緑がきれいな4月～5月にかけての穏やかな気候の中で、今年も岡山県各地でお茶会が開催されました。風薫る中での開催は大変気持ちの良いものです。

さて、岡山四大茶会は、最上稲荷の讃仰茶会、後楽園の栄西禅師賛仰献茶式、円通寺の良寛茶会、黒住茶会です。日本全国でも全流派が揃って茶会を開催する所は6カ所だそうで、その内の4カ所が岡山県内で行われます。素晴らしい事ですね。

今から八百年以上も前、鎌倉時代の禅僧で岡山県出身、備中吉備津宮の神主を務める賀陽氏の出といわれる栄西禅師は、比叡山で学んだ後、宋に留学し、臨済宗だけでなく喫茶の習慣やお茶を日本に持ち帰り、初めて抹茶の製法・文化を伝えました。これがきっかけで一般に茶道が広まり、このことから、栄西禅師は「茶祖」とも称されています。余談ですが、茶道は「さどう」とも「ちゃどう」とも言います。昨今英語への訳から「sadou」ではわかりづらく「cha-doh」の表記が分かりやすいようで、日本でも「ちゃどう」と言われることも多くなったそうです。因みに栄西も「えいさい」・「ようさい」どちらを読んでも良いそうです。

また、栄西禅師が中国より持ち帰った臨済宗は、座禅を修行の根幹として悟りの境地を究めようとする禅宗の一つですが、座禅とともに公案(悟りへの文書)を重視し、師との厳しい禅問答を繰り返しながら自らの仏性に開眼することをめざす禅風が特徴です。

お釈迦様は、ブッダガヤの小高い丘にある木の下にお座りになり、瞑想され悟りを開かれました。その木が仏教ではお馴染みの菩提樹です。この菩提樹の木も栄西が中国の天台山に植えられていたものを日本へ持ち帰ったといわれています。

菩提樹も種類がいろいろありますが、お念珠の珠にされる木は、実の中に磁気を持っているそうです。この磁気力が、私たちの心と体に非常に効果的であり、

身に着けると健康をもたらし、体内の熱を減らし、血圧を下げ、精神的な圧迫や緊張を和らげるといいます。お念珠には水晶・翡翠など色々な素材のものがあります。日蓮宗用には108の珠とは別に一房の数取りも付きます。最も身近な仏具として手になじむお念珠の一つとして、ご縁がある時に備えてはいかがでしょうか。



◇ 行事報告 ◇

4月18日（金）摩利支天月例祭

本堂での読誦会に引き続き摩利支天堂にて家内安全・身体健全などのご祈念をさせていただきます。

4月16日（水）宗務所主催グランドゴルフ大会

4月21日（月）庭瀬組寺主催グランドゴルフ大会

宗務所主催の大会は午前の部、午後の部に分かれて行われました。

庭瀬組寺主催の大会では当山から、2チームが参加し、Aチームの大江和輝総代が個人優勝しました。団体も6位入賞となりました。



次回は11月12日（水）の予定です。一緒に参加して、良い汗をかいてみませんか？



◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

6月18日（水）、7月18日（金）午前10時より執行いたします。

多くの摩利支天様がお座り頂いた御宝前にて各家の家内安全、身体健全を祈願し、お加持を受けます。皆様のご参加をお待ちしております。なお、お供えは、摩利支天様一体千円以上、お賽銭百円以上を申し受けます。



◇ お知らせ ◇

本了院霊園（旧本了院寺跡周辺）の道路工事が始まります。

本了院霊園の参道（大乘院・正善院・不変院・中正院前を含む）の道路舗装工事を6月初旬から7月中旬の予定で行います。法事などには工事の影響が出ないように配慮くださるそうですのでご安心ください。

また、案内看板が入り口付近に掲載される予定ですので、お参りされる時にはご確認ください。ご不便をお掛けしますが、どうぞよろしく願いいたします。 合 掌

今年も牡丹が
咲いてくれました

